



2月園だより



ようとう保育園

Tel:028-612-2461

2024年1月29日



2月の行事予定

- 2日 豆まき
- 8日 歯科健診
- 9日 さくら組食育講話
- 15日 避難訓練
- 16日 誕生会

今年は、4年に一度の「うるう年」にあたります。暦と実際の太陽の動きの差を調整するために、2月29日が追加される特別な年です。子どもたちにも“おまけの日”がある理由を分かりやすく伝えていければと考えています。

いよいよ節分の季節がやってきました。子どもたちはお面を作り、豆まきを楽しみにしているようです。まだまだ寒い日が続きますので、園でも手洗いうがいを心がけ、元気に過ごしたいと思います。

※行事・活動の様子はホームページ「ようとう保育園」【ブログ】【ギャラリー】に掲載しています。



子どもの姿



つくし組

園庭では霜柱や氷を見つけ、様々な冬の発見や感触を楽しんでいます。帽子をロッカーに取りに行ったり、靴箱まで行き靴を保育士の元へ持ってくる姿もあり、毎日一目散に外に出ています。夕方暖かい日には戸外あそびをするようになり、たくさん体を動かすようになりました。

給食の前に椅子を運んだり、食べ終わると口拭きタオルをロッカーに片付けようとするなど、簡単な身のまわりのことをやろうとする姿が見られ、成長を感じています。まだ、思い通りにできないこともあります。一人ひとりの自分でやりたい気持ちを受け止めながら、丁寧に関わっていきたくと思っています。

《ねらい》

冬の自然に触れながら、全身を使ったあそびを楽しむ。

たんぽぽ組

寒さに負けず外に出るなり走り出し霜柱や氷を見つけ大興奮の子どもたち。

「つめたいね」「おっきいね」など友だちや保育士と思いを共有しながら、氷をカップやリヤカーに集めごっこあそびを楽しんでいます。時には寒さで固まってしまう子もいますが、ダンスや追いかっこなどに誘い、体を動かしてあそべるように関わっています。

生活面では上着やズボンの着脱など身のまわりのことも意欲的に出来るようになってきました。うまく行えず泣いて訴える姿もありますが、気持ちを受け止めながらさり気なく援助し意欲に繋がっています。

《ねらい》

保育士に見守られながら簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。

つばめ組

進級が近付くと共に自分でできることが増えてきました。衣類の着脱では、前後反対に着ている子もいますが、自分で最後まで着替えることができるようになっていたり、日中パンツをはいて過ごす子が増え、保育士が声掛けをしなくても「トイレに行ってくる！」とトイレに行く姿を見て、成長を感じています。「でた！」と嬉しそうに知らせる姿はとてもかわいらしいです。

食事では、盛り付けられたご飯を両手で運んだり、食器を自分で片付けたりできるように取り組んでいます。進級に向けて、自分でできることが一つでも増えるようにサポートしていきたくと思っています。

《ねらい》

異年齢児とのあそびや活動を通して思いやりの気持ちや進級への期待を持つ。

うぐいす組

「さむいね」「つめたいね」と保育士や友だちと思いを共有したり、氷や霜柱を見つけ、冬ならではの自然に触れ合いながら戸外あそびを楽しんでいます。また、「しっぽとり」や“コロコロドッジボール”などの集団あそびを保育士や友だちと一緒に寒さに負けずに体を動かしてあそんでいます。

おかずの取り分けを始めました。自分たちでお皿に盛り付けることを楽しみながらも、自分で食べることができる量をよそったり、次の人のためにトングをどこに置かかを考えたりして成長しています。自分でよそり最後まで食べると「全部食べたの!」「全部ピカピカ!」と嬉しそうにしています。進級に向けて、自分で出来ることを増やし、意欲を高めていきたくと思っています。

《ねらい》

冬の自然に興味を持ち、保育士や友だちと楽しさを感じながらあそぶ。

ふじ組

年明けに登園した際に「あけましてあめどう」と新年の挨拶をしたり、「お年玉もらったよ」「おせち食べたよ」などとお休み中のできごとをたくさん話してくれました。園では正月あそびとして凧揚げをしたり、寒さに負けずに外であそべるよう体操やマラソンを幼児組で取り入れて楽しんでいます。

水が冷たいからと手洗いうがいが疎かになっているので「手洗いうがいの大切さ」を伝えながら健康に過ごしていけるよう心掛けています。今では、声を掛けなくても「2回うがいたよ」「手がピカピカになったよ」と意欲的に取り組む姿に成長を感じます。

《ねらい》

異年齢児とのあそびや活動を通して思いやりの気持ちや進級への期待を持つ。

さくら組

就学に向けた生活リズムのため午睡がなくなり、一つひとつのあそびにじっくり取り組んでいます。三つ編みの縄跳び作りに挑戦中の子が多く、「無理だ…できない」と呟く友だちに対して「運動あそびも最初はそうだったでしょ?諦めないで練習したから、発表会で成功したんでしょ!」と励ます姿も見られました。経験から学び成長した心と、素敵なお友だちを嬉しく思います。

炊飯活動にも意欲的で、当番表をめくって心待ちに。「〇〇君のご飯、美味しいね」と会話が弾み、あっという間に空っぽになるお釜を見て、得意げなお当番さんです。今月は食育講話もありますので、食事への興味が広がるようにしていきたいと思っています。

《ねらい》

見通しをもって生活やあそびを進めていく充実感を味わう。